

練馬高校 令和5年度【硬筆書写】年間授業計画

教科:(芸術)科目:(硬筆書写) 対象:(第3学年1組～7組)

使用教科書:書道I(東京書籍)

使用教材:3級硬筆書写検定合格のポイント(日本習字普及協会)

	指導内容 【年間授業計画】	科目 書道I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4 月	ガイダンス 実力調査(検定 理論:第7～10問) 楷書の基本点画	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習予定(楷書, 行書, 仮名)や硬筆書写検定の内容の周知を図る。 ・学習前に検定問題を解き, 現段階の認識度と不得意部分を確認する。 ・楷書の基本点画(左右の払い, 横画, 偏と旁のバランス)を練習する。 ・基本の反復練習をし, 楷書の基本を習得する。 	基本的な執筆法について理解しようとしている。	2
	楷書の基本点画	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の基本点画(冠㊦と㊧のバランス, 複雑な漢字の書き方)を練習する。 ・基本の反復練習をし, 楷書の基本を習得する。 	基本的な執筆法について理解し, 習得できている。	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
5 月	漢字の部首の名称 楷書の筆順 楷書の基本点画 検定問題を解く(第7問～8問)	・正しい筆順, 筆順の原則を学習する。 ・基本の反復練習をし、楷書の基本を習得する。	基本的な執筆について理解し、習得できている。	2
	筆順の原則 楷書の字形について	・左払いの向き, による部分の筆順と書き方を習得する。 ・文字の字形(直勢, 向勢, 背勢)について理解を深める。 ・基本の反復練習をし、楷書の基本を習得する。	文字によって適した字形にしている。 正しい筆順に修正している。	2
	検定問題を解く(第6問 掲示物) 楷書の基本点画(復習)	・太マジックペンを用いて、効果的な見やすい掲示物の書き方を練習する。 ・行間, 文字幅の均等に書く意識をさせる。 ・行頭, 行末を揃える。 ・前回までの授業から生徒の不得意な漢字を把握し、正しく書く練習をする。	正しい楷書を使用し、文字が潰れないように工夫して書いている。 正しい執筆法を理解し、字の修正を図っている。	2
	行書の基本点画	・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首によっての点画のくずし方を理解をする。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。	行書の基本的な執筆法について理解し、習得できている。	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
6 月				
	行書の基本点画 検定問題を解く(第2問 楷行)	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本的な執筆法を練習する。 部首によっての点画のくずし方を理解をする。 基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 楷書と行書の書き分けを練習する。 	基本的な執筆法について理解し、習得できている。書体によっての点画の変化を理解し、書き分けられている。	2
	行書の基本点画 平仮名 カタカナ	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本的な執筆法を練習する。 部首によっての点画のくずし方を理解をする。 基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 行書体に調和する平仮名の練習をする。 	基本的な執筆法について理解し、習得できている。	2
	行書の基本点画 漢字仮名交じり文 検定問題を解く(第3問 漢仮)	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本的な執筆法を練習する。 部首によっての点画のくずし方を理解をする。 基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 行書体に調和する仮名文字を習得する。 	漢字と仮名の調和を考え、文字の大小や字間等、縦書き文章の技巧を習得できている。	2
	行書の基本点画 数字の書き分け 葉書の表書き 検定問題を解く(第5問 葉書)	<ul style="list-style-type: none"> 行書の基本的な執筆法を練習する。 部首によっての点画のくずし方を理解をする。 基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 数字の書き方(直立体、斜体)を練習する。 葉書の宛名の書き方を習得する。 	基本的な執筆法について理解し、習得できている	2

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
検定問題を解く(第4問 横) 検定問題を解く(第6問 掲示物)	・楷書の横書き文章の練習をする。 ・短時間で掲示物(大きい用紙)のレイアウトを作り、太マジックで書く練習をする。	正しい楷書を使用し、文字が潰れないように工夫して書いている。	2

7
月

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
8 月			

	指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
9 月				
	検定問題を解く(小テスト) 漢字仮名交じり文	<ul style="list-style-type: none"> ・7月実施の模擬テストから、不得意な箇所の把握をし、復習をする。 ・行書体に調和する仮名文字を習得する。 	漢字と仮名の調和を考え、文字の大小や字間等、縦書き文章の技巧を習得できている。	2
	検定問題を解く(小テスト) 漢字仮名交じり文	<ul style="list-style-type: none"> ・7月実施の模擬テストから、不得意な箇所の把握をし、復習をする。 ・行書体に調和する仮名文字を習得する。 	漢字と仮名の調和を考え、文字の大小や字間等、縦書き文章の技巧を習得できている。	2
	行書の基本点画	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首によつての点画のくずし方を理解をする。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 	行書の基本的な執筆法について理解し、習得できている。	2
	行書の基本点画 検定問題を解く(第2問 楷行)	<ul style="list-style-type: none"> ・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首によつての点画のくずし方を理解をする。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 ・楷書と行書の書き分けを練習する。 	基本的な執筆法について理解し、習得できている。書体によつての点画の変化を理解し、書き分けられている。	2

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
検定問題を解く(第1問 速書) 行書の基本点画 検定問題を解く(第2問 楷行)	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧かつ速く文章を体裁よく書けるように練習する。 ・行書の基本的な執筆法を練習する。 ・部首によっての点画のくずし方を理解をする。 ・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 ・楷書と行書の書き分けを練習する。 	基本的な執筆法について理解し、習得できている。書体によっての点画の変化を理解し、書き分けられている。	2
平仮名 漢字仮名交じり文 検定問題を解く(第3問 漢仮)	<ul style="list-style-type: none"> ・前回までの授業から生徒の不得意な箇所を把握し、正しく書く練習をする。 ・行書体に調和する平仮名の練習をする。 ・文字の大小、字間の整え方を習得する。 	漢字と仮名の調和を考え、文字の大小や字間等、縦書き文章の技巧を習得できている。	2
10月			
検定問題を解く(第4問 横) 漢字の部首の名称 楷書の筆順 検定問題を解く(第7問～8問)	<ul style="list-style-type: none"> ・楷書の横書き文章の練習をする。 ・正しい筆順、筆順の原則を復習する。 	基本的な執筆について理解し、習得できている。	2

	指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
11 月	行書の基本点画 検定問題を解く(第2問 楷行) 漢字の部首の名称 楷書の筆順 検定問題を解く(第7問～8問)	・基本の反復練習をし、行書の基本を習得する。 ・楷書と行書の書き分けを練習する。 ・正しい筆順、筆順の原則を復習する。	基本的な執筆法について理解し、習得できている。書体によっての点画の変化を理解し、書き分けられている。	2
	検定を実施	硬筆書写検定3級の検定を実施	学習プリントの提出と確認をする。	2
	連綿の基本練習	・基本的な連綿の4方法を短い言葉から練習する。 ・基本の反復練習をし、連綿の基本を習得する ・筆圧と執筆の速度の調整をする。	連綿のリズムがとれている。	2
	連綿の練習	・長い連綿を反復練習をし、連綿のリズムを捉える。	連綿のリズムをとり、効果的に字形を変化させることができている。	2
	【実用書】 連綿の練習(手紙)	・連綿を用いた文章で礼状や手紙を練習する。	連綿のリズムをとり、効果的に字形を変化させることができている。	2

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
連綿の練習 【実用書】 年賀状の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・長い連綿を反復練習をし、連綿のリズムを捉える。 ・漢字から漢字、漢字から仮名、仮名から漢字の異種からの連綿を練習する。 ・十干十二支について理解を深める。 ・変体仮名の種類や歴史を知る。 	連綿のリズムをとり、効果的に字形を変化させることができる。	2

12
月

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
【実用書】 封筒の宛名の書き方 ご祝儀袋の表書きの書き方	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な筆記具を用いて、芳名帳に氏名に書く練習をする。 ・正しい宛名書き、表書きの書き方を習得する。 	行書の書き方を習得し、自分の氏名を行書体にすることができる。	2
1 月			
			50

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
2 月			

指導内容 【年間授業計画】	科目 書道 I の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
3 月			